



新しいハードウェア機能

- [Cisco UCS X シリーズ M8、M7 6.0\(2.260069\) および C シリーズ M8 6.0\(2.260069\) サーバーファームウェア リリースの新しいハードウェア](#) (2 ページ)
- [Cisco UCS B シリーズ M5 6.0\(1.260012\) サーバーファームウェア リリースの新しいハードウェア：なし](#) (2 ページ)
- [Cisco UCS X シリーズ M8、M7 サーバファームウェア リリース 6.0\(2.260040\) の新しいハードウェア](#) (2 ページ)
- [Cisco UCS XE シリーズ M8 サーバファームウェア リリース 6.0\(1.260001\) の新しいハードウェア：なし](#) (4 ページ)
- [Cisco UCS C シリーズ M8 サーバファームウェア リリース 6.0\(1.250194\) の新しいハードウェア：なし](#) (4 ページ)
- [Cisco UCS X シリーズ M8、M7 6.0\(1.252114\)、M6、B シリーズ M66.0\(1.250179\)、M56.0\(1.250169\) および C シリーズ M8、M7、M6 6.0\(1.250192\) サーバファームウェア リリースで新しいハードウェア：なし](#) (4 ページ)
- [Cisco UCS XE シリーズ M8 サーバファームウェア リリース 6.0\(1.251030\) の新しいハードウェア](#) (4 ページ)
- [Cisco UCS X シリーズ M8 サーバファームウェア リリース 6.0\(1.252039\) の新しいハードウェア](#) (7 ページ)
- [Cisco UCS X シリーズ M8、M7、M6 6.0\(1.250162\)、B シリーズ M6、M56.0\(1.250157\)、および C シリーズ M8、M7、M6 6.0\(1.250174\) サーバファームウェア リリースで新しいハードウェア：なし](#) (8 ページ)
- [Cisco UCS X シリーズ M8、M7 6.0\(1.250122\)、M6、B シリーズ M66.0\(1.250127\)、M56.0\(1.250131\) および C シリーズ M8、M7、M6 サーバファームウェア リリースの新しいハードウェア：なし](#) (9 ページ)
- [Cisco UCS X シリーズ M8、M7、M6 6.0\(1.250120\) および C シリーズ M8、M7、M6 6.0\(1.250127\) サーバーファームウェア リリースの新しいハードウェア](#) (9 ページ)

Cisco UCS X シリーズ M8、M7 6.0(2.260069) および C シリーズ M8 6.0(2.260069) サーバー ファームウェア リリースの新しいハードウェア

- Cisco UCS C245 M8 および C240 M8 および C240 M7 サーバの NVIDIA OEM BlueField-3 B3220 DPU 2x200G QSFP112、暗号化無効 (UCSC-P-N3220)。
- Cisco UCS C225 M8、C245 M8、C220 M8、C240 M8 および C240 M7 サーバ上の UCS NVIDIA BlueField-3 B3220L SuperNIC 2x200G QSFP112、PCIe Gen5.0 x16、暗号無効 (UCSC-P-N3220L)
- Cisco UCS C245 および C240 M8 サーバーでの NVIDIA Crypto B3220 Data Processing Unit (DPU) (UCSC-P-NC3220) のサポート。
- Cisco UCS C240、C220、X215c、および X210c M8 サーバでの 30 TB E3.S TLC Micron 9550 ドライブのサポート
- Cisco UCS C240、C220、X215c、および X210c M8 サーバでの E3.S FIPS (Kioxia CM -7) ドライブのサポート

Cisco UCS B シリーズ M5 6.0(1.260012) サーバー ファームウェア リリースの新しいハードウェア：なし

Cisco UCS X シリーズ M8、M7 サーバ ファームウェア リリース 6.0(2.260040) の新しいハードウェア

- X シリーズ M8 6.0(2.260040) サーバ ファームウェア

Cisco UCS X410c M8 コンピューティング ノード

Cisco UCS X410c M8 コンピュータ ノードは、Cisco UCS X シリーズ モジュラー システム 向けに専用設計された、第 2 世代の 4 ソケット コンピュータ ノードです。

7 ラックユニット (7 RU) Cisco UCS X9508 サーバシャーシは、最大 4 台の Cisco UCS X410c M8 コンピューティング ノードをサポートします。この設定は、多様なワークロードに適応する柔軟性を提供します。

Cisco UCS X410c M8 コンピューティング ノードの主な機能は次のとおりです。

- CPU : Intel Xeon 6 プロセッサ 4 基 (各プロセッサ最大 86 コア)

- **メモリ** : 256GB DDR5-6400 DIMM を 64 枚使用し、最大 16 TB のメインメモリを搭載可能。
- **ストレージ** : ノードは次のストレージ構成をサポートします。
 - 最大 9 台のホットプラグ可能な EDSFF E3.S NVMe ドライブと、パススルー フロント メザニン コントローラ。
 - エンタープライズクラスの RAID オプションを備えた、ホットプラグ対応の 2.5 インチ Solid-State Drives (SSDs) または Non-Volatile Memory Express (NVMe) ドライブを最大 6 台搭載可能。
 - 最大 2 台の M.2 SATA または NVMe ドライブにより、ブートとローカルストレージを実現。
- **mLOM 仮想インターフェイスカード (VIC)** : ノードは、次のモジュール型 LAN on マザーボード (mLOM) オプションをサポートします。
 - Cisco UCS VIC 15420 : 各インテリジェント ファブリック モジュール (IFM) へのユニファイドファブリック接続の最大 50 Gbps (2x 25 Gbps) を可能にします。
 - Cisco UCS VIC 15230 : 各 IFM への最大 100 Gbps でのユニファイドファブリック接続を可能にします。
- **オプションのメザニンカード** : オプションの第 5 世代 Cisco UCS VIC 15422 は、メザニン スロットを占有します。ブリッジカードはネットワーク接続を拡張し、サーバあたり 200 Gbps の合計帯域幅を提供します。
- **セキュリティ** : オプションの TPM (Trusted Platform Module)、セキュアブート対応 FPGA、および ACT2 偽造防止機能へのサポート。

詳細については、[Cisco UCS X410c M8 コンピューティング ノード データ シート](#) および [Cisco UCS X410c M8 コンピューティング ノード スペック シート](#) を参照してください。

• X シリーズ M7 6.0(2.260040) サーバファームウェア

Cisco UCS X210c M7 サーバでの Cisco UCS X580p PCIe ノードのサポート

Cisco UCS X210c M7 サーバでの Cisco UCS X580p PCIe ノードのサポートが追加されました。UCSX-GPU-H200-NVL および UCSX-GPU-RTXP6000 GPU は、X580p PCIe ノードで使用する場合、Cisco UCS X210c M7 サーバでサポートされます。



(注)

- UCSX-GPU-L40S GPU は、X580p PCIe ノードで使用する場合、現在 Cisco UCS X210c M7 サーバではサポートされていません。
- X580p PCIe ノードを搭載した Cisco UCS X210c M7 サーバのサポートは、第 5 世代インテル Xeon Scalable processor (Emerald Rapids) を使用している場合にのみ使用できます。

Cisco UCS XE シリーズ M8 サーバファームウェア リリース 6.0(1.260001) の新しいハードウェア：なし

Cisco UCS C シリーズ M8 サーバファームウェア リリース 6.0(1.250194) の新しいハードウェア：なし

Cisco UCS X シリーズ M8、M7 6.0(1.252114)、M6、B シリーズ M6 6.0(1.250179)、M5 6.0(1.250169) および C シリーズ M8、M7、M6 6.0(1.250192) サーバファームウェア リリースで新しいハードウェア：なし

Cisco UCS XE シリーズ M8 サーバファームウェア リリース 6.0(1.251030) の新しいハードウェア

Cisco UCS XE130c M8 コンピューティング ノード

Cisco Unified Edge は、コンピューティング、ストレージ、ルーティング、スイッチング、およびセキュリティを単一の構成可能なソリューションに統合し、IT 組織がグローバル規模でエッジインフラインフラストラクチャのデプロイメント、運用、ライフサイクル管理を簡素化できるようにします。

Cisco Unified Edge は、3RU の奥行き短いマルチマウント可能なシャーシを備えたモジュラエッジプラットフォームで、拡張された温度範囲（5 ～ 45 °C）で動作し、静音プロファイル（25 °で 40s dBA）を維持する機能を備えています。C および 20% PWM をサポートし、高微粒子環境に対する保護機能を提供し、物理に幅広いスペースへの展開を可能にします。

Cisco UCS XE130c M8 は、1RU、ハーフ幅のコンピューティング ノードファミリです。Cisco UCS XE9305 シャーシには、最大 5 つの Cisco UCS XE130c M8 コンピューティング ノードを収容できます。企業クラスのパフォーマンス、汎用性、密度を提供しますが、これらをエッジに最適化されたコンパクトなフォームファクタで実現しています。

主な機能と利点

- フォームファクタとシャーシ：
 - 1RU 高かつハーフ幅のコンピューティング ノード

- Cisco UCS XE130c M8 コンピューティング ノードは、Cisco UCS XE9305 シャーシに取り付けます
- **CPU** : パフォーマンスコア (P-core) プロセッサを搭載したチップ (SoC) 上の一つの Intel® Xeon® 6 システム (物理コア数 12、20、または 32)。
- **メモリ** :
 - 合計 8 個の DDR5 DIMM スロット、最大 6400 MT/s RDIMM
 - 8 つの 96 GB DDR5-6400 DIMM で最大 768 GB のメイン メモリ
- **GPU** : ハーフハイト、ハーフレンジス GPU 用の 1 つの専用 PCIe Gen5 GPU スロット。
- **ネットワーク** :
 - シャーシ ミッドプレーンを介して両方の Cisco UCS XE シャーシ管理コントローラの組み込みスイッチに接続する 2 つの統合 25 Gbps ホスト ポート。
 - 2 つの統合 1/10 Gbps RJ45 ホスト ポート。
- **ストレージ** :

Cisco UCS XE130c M8 コンピューティング ノードでは、次の 2 種類のフラッシュ ストレージ オプションを同時に使用できます。

 - 内部 M.2 SSD : ハードウェア RAID 1 によって保護される最大 2 つの M.2 SSD
 - 前面 E3.S NVMe ドライブ
- **PCIe アダプタ** : ハーフハイト、ハーフレンジス PCIe アダプタ用の 1 つの PCIe Gen5 スロットには、それぞれが最大 15 TB をサポートする 3 台の前面パネルのホットスワップ可能な E3.S NVMe ドライブを含む、IO 最適化構成が必要です。
- **前面パネル インターフェイス** :
 - KVM コネクタ X 1
 - IMC への UART 接続用 USB-C コンソール ポート X 1
- **電源サブシステム** : 電源は Cisco UCS XE9305 シャーシの電源から供給されます。Cisco UCS XE 130c M8 コンピューティング ノードは、最大 425 W を消費します。
- **ファン** : Cisco UCS X9305 シャーシに統合。
- **組み込み管理プロセッサ** :
 - 組み込みの Cisco Integrated Management Controller を使用すれば、Cisco UCS XE130c M8 コンピューティング ノードインベントリ、正常性、およびシステムイベントログを監視することができます。
 - ASPEED AST2600
- **ファームウェア規格** :

- UEFI 仕様 2.9
- ACPI 6.5
- SMBIOS バージョン 3.7
- 前面インジケータ :
 - 電源ボタンおよびインジケータ
 - システム インジケータ
 - ロケーションボタンとインジケータ
- セキュリティ : サーバには、サーバのベースボード管理コントローラ (BMC) に接続されたオンボードのトラステッドプラットフォーム モジュール (TPM) があります。これはセキュアなキーストレージとして機能し、偽造防止を支援します。さらに、サーバは、ホスト システム用にオプションの TPM をサポートしています。

詳細については、「[Cisco UCS XE130c M8 コンピューティング ノード データ シート](#)」および「[Cisco Intersight Unified Edge eCMC インフラストラクチャファームウェア リリース、6.0](#)」を参照してください。

Cisco UCS XE シリーズ M8 サーバーのデバッグ機能テスト

接続セットアップに対応する方法を選択してください。

方法 1 : 直接 USB-C 接続を使用する

USB-C ケーブルをサーバー前面のコンソール ポートに直接接続できます。方法 2 で提供されている詳細な手順は、デバッグ ブレークアウト ケーブルに固有のものであり、この直接接続方法には適用されません。

方法 2 : デバッグ ブレークアウト ケーブル (UCSX-C-DEBUGCBL) を使用する

デバッグ ブレークアウト ケーブル UCSX-C-DEBUGCBL を使用する場合に、サーバ デバッグ 機能テストにシリアル ポートを使用するには、次の手順に従います :

1. シリアル ケーブルを接続 :

1. 必要に応じて、DB9 シリアル ケーブルまたは USB からシリアルへのアダプタを使用します。
2. サーバーのシリアルポートからデバッグ コンソールまたはホストシステムにケーブルを接続します。

2. BIOS/UEFI 設定の構成します :

1. 起動時にサーバー BIOS/UEFI にアクセスします。
2. シリアル コンソール リダイレクション オプションを有効にします。
3. ボー レート (通常 115200)、データ ビット (8)、パリティ (なし)、およびストップ ビット (1) を設定します。

3. シリアル ターミナルを起動します :

1. PuTTY、Terra Term、または minicom などの端末エミュレーションツールを使用します。
2. シリアル接続に対応する正しい COM ポートを選択します。
3. BIOS で設定されたボーレートおよびその他のシリアル設定と一致させます。

4. 出力を確認します :

1. サーバを再起動し、シリアル コンソールで POST メッセージとシステム ログを観察します。
2. 必要に応じてシステムを操作できることを確認します(ログイン プロンプトやシェル アクセスなど)。

5. ログおよびキャプチャ :

1. 後で分析するためにデバッグ出力をキャプチャするには、端末ツールでロギングを有効にします。
2. 追跡可能性のためにタイムスタンプを付けてログをパスワード を 変更。

6. トラブルシューティング :

1. 出力が表示されない場合は、ケーブル接続、BIOS 設定、および COM ポートの設定を確認します。
2. 他のサービスやアプリケーションがシリアルポートを占有していないことを確認します。

Cisco UCS X シリーズ M8 サーバファームウェア リリース 6.0(1.252039) の新しいハードウェア

この項では、新しいハードウェア機能について簡単に説明します。

Cisco UCS X580p PCIe ノード

Cisco UCS X580p PCIe ノードは、UCS X シリーズ モジュラー システム向けの最新の PCIe リソース ノードです。生成 AI およびエージェント AI の微調整、推論、および GPU アクセラレーションを必要とするその他のアプリケーションなどのワークロードに対して、高性能な GPU サポートを提供します。

Cisco UCS X580p PCIe ノードは、最大 4 つの PCIe GPU をサポートします。Cisco UCS X210c M8 サーバ (Intel Xeon プロセッサを搭載) または UCS X215c M8 サーバ (EPYC プロセッサを搭載) とペアリングできます。X580p は、GPU 接続に Cisco UCS X-Fabric テクノロジーを使用します。

X580p は、X シリーズ シャーシの 2 つのノード スロットを占有します。ノードごとに最大 4 つの GPU を割り当てられます。各 7RU Cisco UCS X9508 シャーシは最大 2 つの PCIe ノードをサポートします。各ノードは 1 つまたは 2 つのサーバとペアリングします。

詳細については、『[Cisco UCS X580p PCIe ノードのインストールおよびサービス ガイド](#)』および『[Cisco UCS X580p PCIe Node Spec Sheet](#)』を参照してください。

Cisco UCS X9516 X-Fabric

Cisco UCS X9516 X-Fabric は、UCS X9508 シャーシ用の第 2 世代 X-Fabric モジュールです。超低遅延の PCIe Gen5 スイッチングと SmartNIC のサポートにより、柔軟で構成可能な IT リソースが可能になります。Cisco Intersight を介して管理される UCS X9516 X-Fabric では、ポリシーベースの管理を使用してサーバ間で GPU と NIC を動的にプロビジョニングできます。

UCS X580p PCIe ノードと組み合わせることにより、X9516 X-Fabric はノードごとに最大 4 つのデュアルスロット GPU をサポートし、NVLink ブリッジをサポートします。これは、AI 駆動型環境でのモジュラ GPU 構成の制御ポイントとして機能します。

詳細については、『[Cisco UCS X9516 X-Fabric データ シート](#)』を参照してください。

Cisco UCS X580p PCIe ノードおよび Cisco UCS X9516 X-Fabric をサポートするための最小ファームウェア要件

- X580p PCIe ノード ファームウェア：6.0(1.252044)
- X9508 シャーシ ファームウェア：6.0(1.252044)
- Cisco UCS X シリーズ M8 サーバ ファームウェア：6.0 (1.252039)
- ファブリック インターコネクト インフラストラクチャ ファームウェア：6.0(1.250229)



(注) X580p PCIe ノードファームウェア 6.0(1.252044) および X9508 シャーシファームウェア 6.0(1.252044) は、個別のバンドルとして利用できます。

Cisco UCS X シリーズ M8、M7、M6 6.0(1.250162)、B シリーズ M6、M56.0(1.250157)、および C シリーズ M8、M7、M6

6.0(1.250174) サーバファームウェア リリースで新しいハードウェア：なし

Cisco UCS X シリーズ M8、M7 6.0(1.250122)、M6、B シリーズ M66.0(1.250127)、M56.0(1.250131) および C シリーズ M8、M7、M6 サーバファームウェア リリースの新しいハードウェア：なし

Cisco UCS X シリーズ M8、M7、M6 6.0(1.250120) および C シリーズ M8、M7、M6 6.0(1.250127) サーバファームウェア リリースの新しいハードウェア

- Cisco UCS C225 M8 サーバーで 30TB 2.5 インチ QLC ドライブをサポートします
- Cisco UCS C シリーズ M8 および C240L M6 サーバーで、次世代の大型フォーム ファクタ (3.5 インチ) ハードディスク ドライブをサポートします。
- Cisco UCS C240 M8 サーバー上の Cisco トライモード M1 24G RAID (UCSC-RAID-M1L16) コントローラのデュアルサポート、同じサーバー環境内の 2 つのコントローラの独立した構成と管理を可能にします。
- インフラファームウェア リリース 6.0 (1) 以降、Cisco UCS X シリーズおよび C シリーズサーバーは Cisco UCS 6664 ファブリック インターコネクトをサポートします。

詳細については、「[Cisco Intersight 管理モードインフラストラクチャファームウェア、リリース 6.0 のリリースノート](#)」を参照します。

Cisco UCS X シリーズ M8、M7、M6 6.0(1.250120) および C シリーズ M8、M7、M6 6.0(1.250127) サーバー ファームウェア リリースの新しいハードウェア

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。